

平成28年3月期 決算説明会

平成28年5月12日



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

【1】平成28年3月期(27年度)連結業績①



1. 経営成績

(億円、%)

項目	平成27年 3月期	平成28年 3月期	増減額	前期比
売上高	5,498	5,783	+285	105.2
営業利益	93	140	+46	149.3
経常利益	104	142	+37	136.2
当期純利益※	39	150	+111	382.7

平成28年 3月期 業績予想	予想比
5,750	100.6
125	112.0
125	113.8
145	103.8

2. セグメント別

※親会社株主に帰属する当期純利益

(億円、%)

項目	乳製品		飲料・デザート類		飼料・種苗		その他	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売上高	2,269	106.5	2,694	105.4	459	96.8	360	106.7
営業利益	94	101.6	22	+	8	78.3	13	218.6

3. 配当

普通配当 30円

【1】平成28年3月期(27年度)連結業績②



利益増減要因の内訳〔連結営業利益〕

前期	当期	増減額
93	140	+46

(億円)

増益要因 合計	+151	減益要因 合計	△105
販売単価差	+84	宣伝促進費の増加	△38
販売物量増加による利益増	+26	乳価差	△32
製品構成差	+22	ロジスティクス費用の増加	△17
コストダウン	+19	資材単価差等	△12
		その他	△6

3

【1】平成28年3月期(27年度)連結業績③



利益増減要因の内訳〔連結経常利益以下〕

(億円)

項目	前期	当期	増減額	主な増減要因
営業利益	93	140	+46	
営業外損益	+10	+2	△8	・為替差損益△14
経常利益	104	142	+37	
特別損益	△30	+80	+110	・関係会社事業損失 △6 ・固定資産売却益 +115
税引前利益	73	222	+148	
当期純利益※	39	150	+111	

※親会社株主に帰属する当期純利益

4

【2】平成29年3月期(28年度)連結業績予想①



1. 経営成績

(億円、%)

項目	平成28年 3月期	平成29年 3月期予想	増減額	前期比
売上高	5,783	5,900	+116	102.0
営業利益	140	150	+10	107.1
経常利益	142	155	+12	109.0
当期純利益※	150	95	△55	63.1

3. 配当

普通配当 30円

※親会社株主に帰属する当期純利益

2. セグメント別

(億円、%)

項目	乳製品		飲料・デザート類		飼料・種苗		その他	
	業績予想	前期比	業績予想	前期比	業績予想	前期比	業績予想	前期比
売上高	2,347	103.4	2,736	101.6	467	101.6	350	97.2
営業利益	106	112.1	23	100.1	10	116.2	11	82.9

5

【2】平成29年3月期(28年度)連結業績予想②



連結営業利益の増減要因

前期	業績予想	増減額
140	150	+10 (億円)

増益要因 合計	+55
販売物量増加による利益増	+30
製品構成差	+25

減益要因 合計	△45
減価償却費の増加	△15
宣伝促進費の増加	△14
固定費の増加	△7
資材単価差等	△6
その他	△3

6

「次なる成長への基盤固め」

平成28年度目標数値

連結営業利益

130～150億円

連結EBITDA

310～330億円

戦略の柱

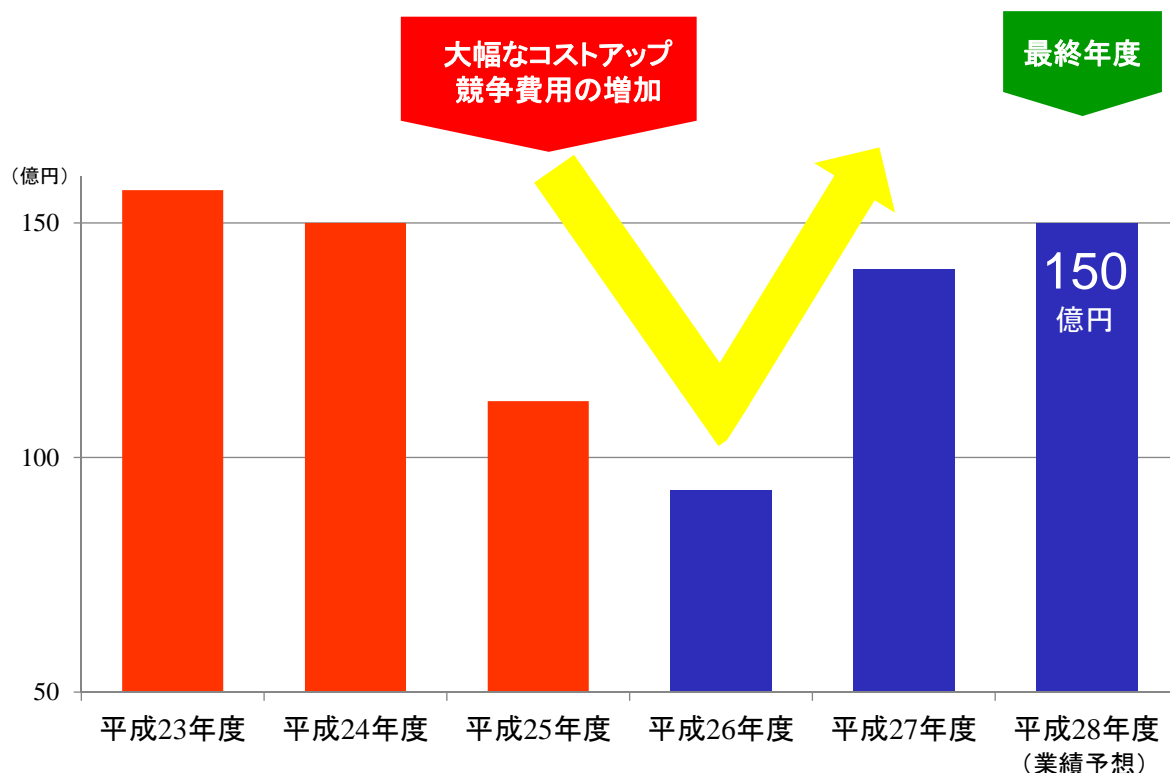
(1) 事業構造改革

(2) 戦略投資設備の最大活用

(3) 成長分野の事業拡大

(4) 機能強化と体制整備

連結営業利益の推移



(1) ヨーグルト

(2) チーズ

(3) 機能性食品事業

【5】ヨーグルト①

機能性表示食品制度の活用

“ガセリ菌SP株が内臓脂肪を減らす”

機能性表示食品の届出が受理された
ガセリ菌SP株ヨーグルト4品



個食タイプ



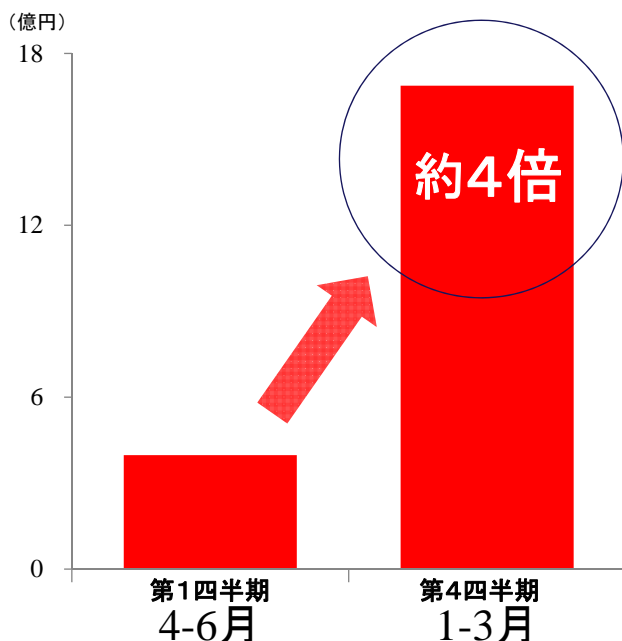
ドリンクタイプ



豆乳仕立て



アロエ



機能性表示食品4品の売上高比較

(平成27年度)

【5】ヨーグルト②

「ガセリ菌SP株ヨーグルト ドリンクタイプ」の生産能力拡大

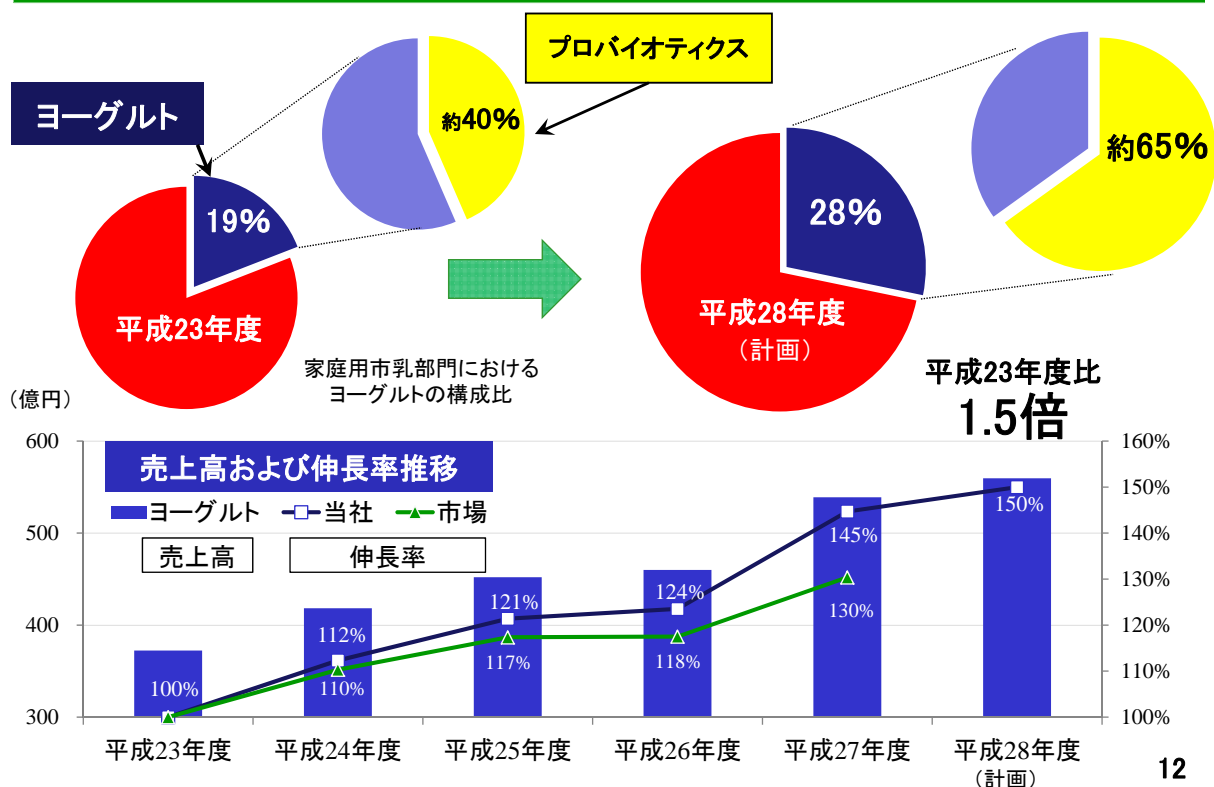
- ✓ 投資額 13.5億円
- ✓ 平成28年7月上旬より順次稼働予定
- ✓ 1日あたりの生産能力が2倍に拡大



「ガセリ菌SP株ヨーグルト ドリンクタイプ」
平成28年度(販売計画) 前期比 2倍

【5】ヨーグルト③

高付加価値商品の販売拡大による「プロダクトミックスの改善」



【6】飲料・デザート類セグメントの業績推移

事業構造改革

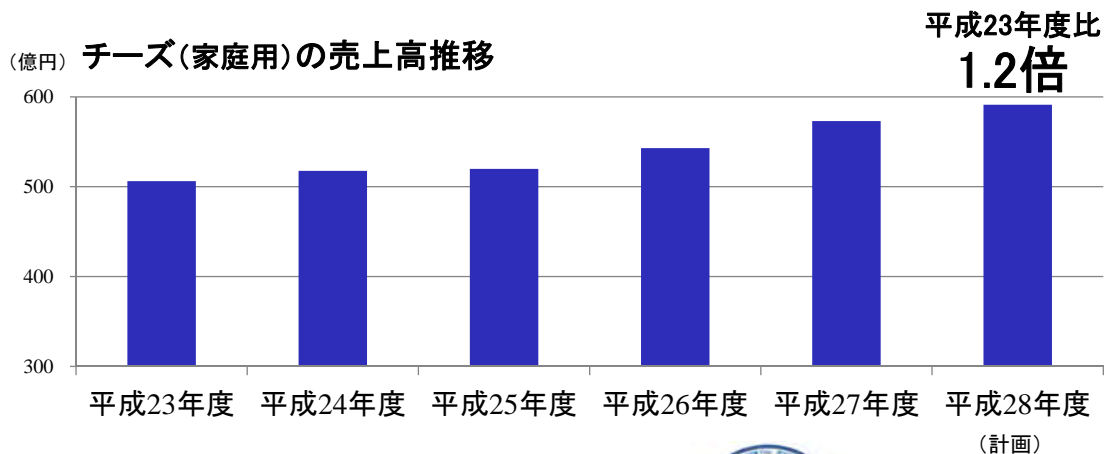
飲料・デザート類セグメントの営業利益の推移



- 大幅な黒字化の達成**
- ✓ 機能性表示食品制度の活用
 - ✓ プロダクトミックスの改善

- 厳しい経営環境**
- ✓ 大幅なコストアップ
 - ✓ 競争費用の増加

【7】チーズ



戦略投資設備の最大活用

- ✓ 阿見工場の最大活用

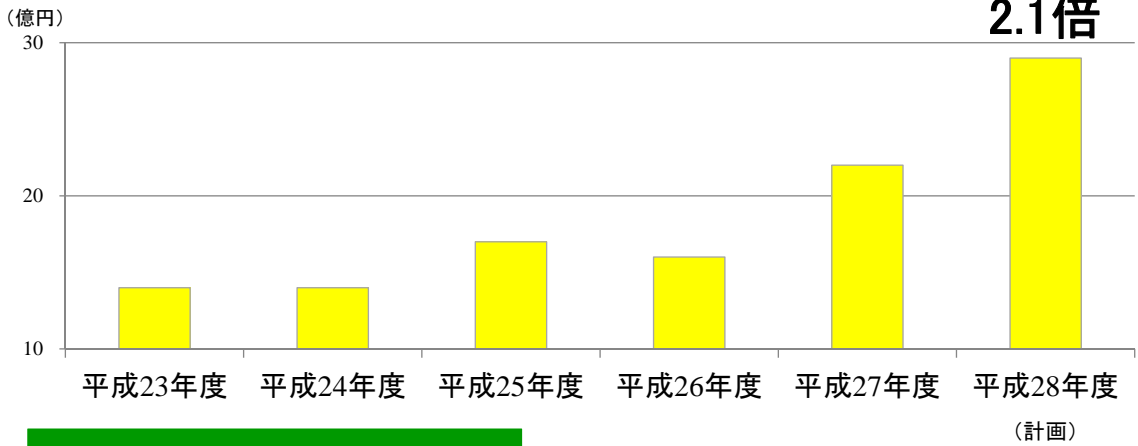


成長分野の事業拡大

- ✓ 「さけるチーズ」「カマンベールチーズ」を中心とした売上拡大



機能性食品事業の売上高推移（連結ベース）

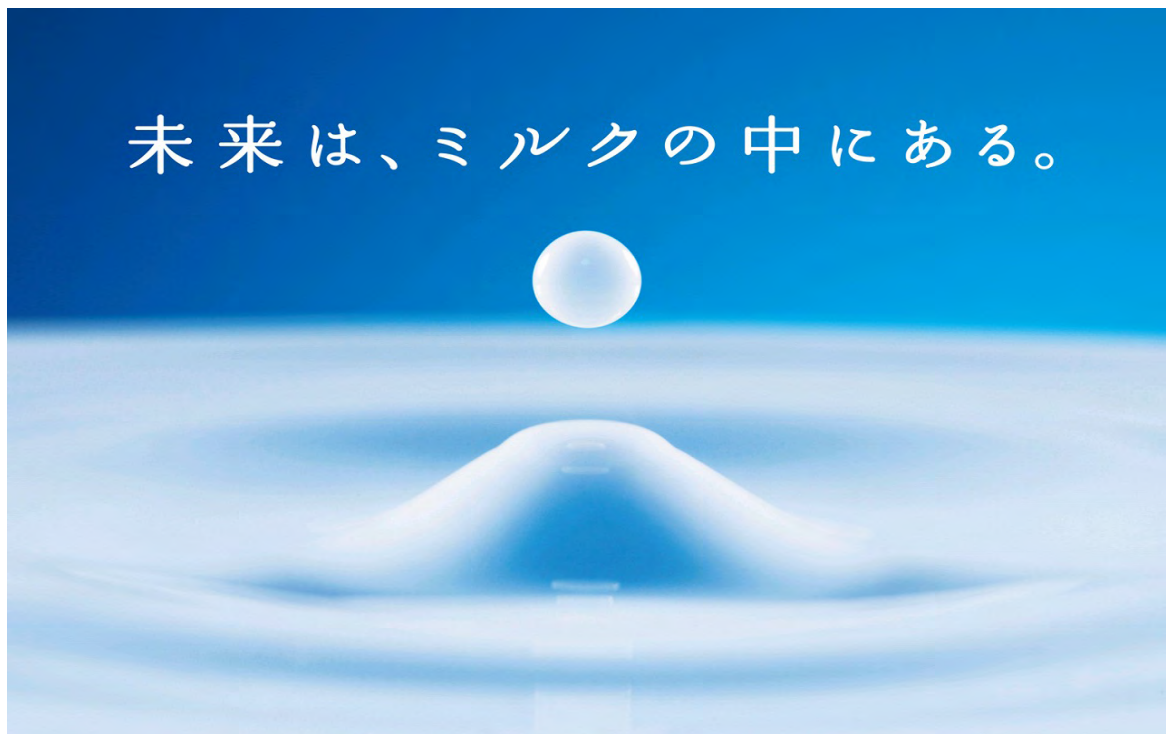


新規分野の事業拡大

- ✓ 積極的なマーケティング投資の実施
- ✓ 通販チャネルの強化
- ✓ 機能性素材の活用

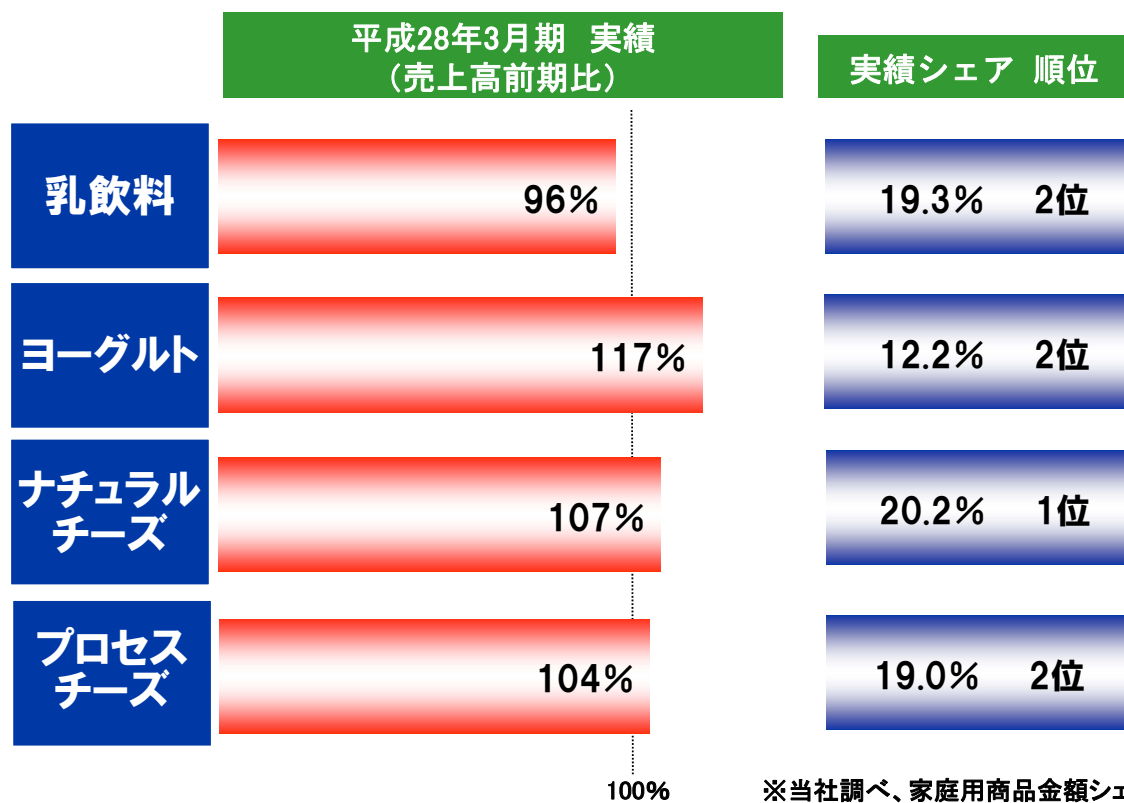


未来は、ミルクの中にある。



本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。

【参考】カテゴリーNo.1戦略の進捗状況



※当社調べ、家庭用商品金額シェア